

# ユビキタスネット社会における官の役割

資料5

階層（レイヤー）	達成すべき状態	具体的課題	対応手法（例）	関与の度合	
実利用層	多種多様なサービスの発展	自由な発想に基づく新ビジネス及びそれに向けた投資をどのように活発化するか。	○税制措置等による間接支援 ○既存制度の見直し	弱	
	自由で効率的な企業活動	既得権益に縛られず、各企業がコアコンピタンスに業務を集中できる環境をどのように確保するか。	○ビジョンの提示による誘導、啓発 ○既存制度の見直し	弱	
データ層	論理ソリューション層	インターフェースの確立・標準化	端末間、ネットワーク間の相互接続・相互運用性をどのように確保するか。	○ユーザーとしてデファクトを主導（電子政府・電子自治体）	強
プラットフォーム層		国際プレゼンスの確立	日本発の設計思想等の知見をどのように世界に広めるか。	○国際規格・ルール作りへの参加支援	やや弱
プラットフォーム層		安全性能確保	セキュリティ、プライバシー保護等のために性能仕様（システム構造、設計手法）をどのように確立するか（確立すべき性能仕様の内容は何か）。	○民間による標準化支援（含実証実験） ○ユーザーとして仕様化を主導（電子政府・電子自治体）	やや弱 強
物理層	一般通信の安定供給	日常生活における一般通話やインターネット接続の安定供給をいかに確保するか。	○ビジョンの提示による誘導、啓発 ○既存制度の見直し	弱	
	地域間格差解消	不採算地域におけるユニバーサルサービスをどのように確保するか（確保すべきユニバーサルサービスの範囲はどこまでか）。	○インフラ整備に対する直接支援（補助金等） ○インフラの直轄整備	やや強	
	国民生活保護（安全保障、防災等）	非常時の通信ライフラインをTCP/IPのネットワークでどのように確保するか。	○強制規格（法律等） ○業務従事命令	強	